

アジア市場経済学会 第29回(2025年)全国研究大会

統一論題及び趣意書

文化的多様性と経済成長：アジア経済における適応とイノベーション

近年、アジア経済の成長は目覚ましく、多様な文化的背景を持つ国々がそれぞれの発展を遂げる中で、グローバル経済との相互関係が一層深まっている。アジアは、人口規模や市場の多様性から見ても、世界経済の成長エンジンとして重要な位置を占めており、その中で文化的な多様性がどのように経済政策に反映し、そして、経済活動に影響を与えているか、また、企業がどのようにして文化的多様性を取り込んでいるのか等、明らかにすべき課題もそこから見えてくる。

アジアの文化的多様性は、単なる地域特性に留まらず、経済政策、経済活動や企業戦略に深く関わる重要な要素である。異なる文化や価値観のもとでの経済政策が、消費者の市場行動に影響を与え、それが企業の競争戦略やイノベーションの動機となり、地域経済ごとの適応力が競争力の源泉として重要視されるようになってきている。

従来、アジアの経済成長は豊富な資源や労働力に依存してきたが、今後は文化的多様性に対する柔軟な適応と新しい価値を生む創造性が成長の鍵を握ると思われる。

第29回全国研究大会では、アジア市場が多様な文化的背景とどのように共存し、成長しているかについて、多角的な視点から議論を深める場を提供したいと考えている。文化的多様性は、これまで、克服すべき課題として捉えられがちであったが、実際には豊かな異文化交流によってさまざまな成長機会が生まれている。各国の市場状況や産業の発展段階が異なることで、独自の適応策やイノベーションの契機が得られ、異文化間の理解と協調によって新たな競争力が生み出されている。

例えば、多様な文化的特性のもとでなされる経済政策の違いが経済成長にどのような差異をもたらしているのか、また、多様な消費者ニーズや異なるビジネス慣行あるいは規制環境に応えることで企業はどのようにして新たな競争力を構築しているのか、といった研究課題を「適応とイノベーション」とした視点から明らかにすることは、きわめて関心の深いものといえる。言い換えれば、こうした異文化への適応は、企業に限らず、地域や国レベルにおける様々な経済組織において求められているのであり、それは、何らかのイノベーションが原動力となるとともに、そのこと自体が新たなイノベーションの源泉とも成り得る。必

要なことは、文化の違いを真摯に理解し、地域の特性を活かしつつ、持続可能な経済成長あるいはビジネスモデルをグローバルな視点から構築することにある。

第29回全国研究大会では「文化的多様性と経済成長」を中心テーマに据え、アジア経済の発展における可能性と課題を討論し、理論と実務の両面から新たな研究の方向性を探る契機としたいと考えている。アジア経済における文化的多様性の意義と、それがもたらす経済成長の可能性についての深い理解を得るとともに、学術と実務の観点から貴重な知見を提供する場となることを期待している。

会員各位による学術的議論と経済政策立案や企業行動における戦略的アプローチの考察を通じて、新たな視点からの洞察が共有され、アジア市場経済学のさらなる発展が促されると確信している。また、本大会を通じ、次世代におけるアジア市場経済学の可能性がさらに拓かれることを期待している。

2024年12月吉日

アジア市場経済学会

第29回全国研究大会実行委員会、プログラム委員会